

ダイバーシティセミナー

# LGBTの基礎知識

## 性同一性障害の学生への支援を中心に

文部科学省の「性同一性障害の子どもへの対応を」との通知以降、小・中・高校での研修や支援が始まっています。全国の大学保健・学生相談室への調査（2012年）では、半数以上が、性別違和感を持つ学生の相談があったとし、大学にも多くの性同一性障害の学生が在籍していると考えられますが、大学、あるいは、教職員により知識や意識に差異が見られます。また、キャリア支援の観点では、企業側の理解も進める必要があります。大学の果たす役割には大きいものがあります。今回は、LGBT、性的マイノリティの基礎知識と、特に、トイレや更衣室、学内文書の氏名や性別の取り扱いなど具体的な配慮が必要となる性同一性障害の学生への支援を中心に解説します。

講師 **中塚 幹也** 氏

岡山大学大学院保健学研究科 教授  
岡山大学ジェンダークリニック 医師  
GID（性同一性障害）学会 理事長

2017年 **3月10日**（金）

13:30 - 15:00

大阪大学吹田キャンパス

生命科学図書館4階AVホール

参加費無料  
申込み不要

来聴歓迎 教職員・学生どなたでもご参加いただけます。

ご参加にあたり特別な配慮が必要な場合は、2月28日までに下記、男女協働推進センターまでお問い合わせください。

主催：大阪大学男女協働推進センター

共催：大阪大学保健センター

お問合せ：大阪大学男女協働推進センター

TEL：06-6105-5988 E-mail：diverapply-plp@ml.office.osaka-u.ac.jp



男女協働推進センター  
Center for Gender Equality Promotion